

博報堂生活総合研究所が

「行楽シーズンの実感」調査をまとめました。

～余暇の実感は「のんびり」「ゆったり」「リフレッシュ」～

博報堂生活総合研究所では、ゴールデンウィークを前に「行楽シーズンの実感」調査をまとめました。本調査は、2000年より、毎年春夏秋冬の行楽シーズンの終わった5月・8月・11月・2月に、「今回の余暇生活をキーワードで表すとすれば、どのようなものになりますか」という質問を投げかけ、24のキーワードから該当するものすべてを選んでもらっています。2000年5月から2002年2月までの2年分、8回の調査結果を平均したところ、年代別に上位のランクで特徴がはっきりと出ました。

以下は「行楽シーズンの実感キーワード」ベスト5の結果です。

<u>10～20代</u>	<u>30～40代</u>	<u>50～70代</u>
1位：のんびり 41.2%	1位：のんびり 47.1%	1位：のんびり 62.5%
2位：ゆったり 36.2%	2位：ゆったり 34.3%	2位：ゆったり 53.6%
3位：リフレッシュ 35.3%	3位：リフレッシュ 33.9%	3位：リフレッシュ 41.6%
4位：くたくた 27.8%	4位：静かな 24.7%	4位：静かな 36.0%
5位：ウキウキ 24.0%	5位：くたくた 23.5%	5位：ほっとする 34.1%

1位から3位までの順位は年代に関係なく、「のんびり」「ゆったり」「リフレッシュ」が余暇の実感のようです。4位、5位に上がったものは年代差が出ていました。10～20代は「くたくた」「ウキウキ」というバイタリティ型の感想。動き回って疲れると同時に楽しさの思いが伝わってきます。30～40代は「静かな」「くたくた」が4位と5位の回答。さほど動き回っている様子はないのにお疲れです。50～70代は「静かな」「ほっとする」というキーワードを選んでおり、アメニティ型の余暇生活のシーンが浮かんできます。さて、今回のゴールデンウィークは、どのような結果になるのでしょうか。

<調査概要>

調査対象者：首都圏18歳から76歳 男女380人

調査方法：郵送法

調査時期：2000年5月、8月、11月、2001年2月、5月、8月、11月、2002年2月の8回

本調査についてのお問い合わせは

博報堂生活総合研究所 03-3233-6450 関沢英彦・林真理子まで。